

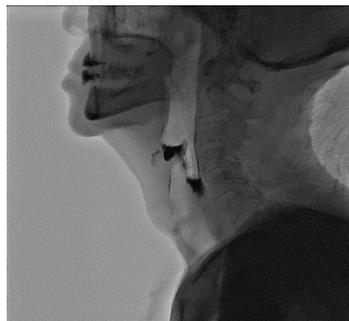
# 栄養・摂食嚥下障害研究班

Nutrition and Ingestive Dysphagia Research Group

## 研究班の活動内容

## Research Group Activities

摂食嚥下障害とは、「外部から水分や食物を口に取り込み、咽頭と食道を経て胃へ送り込む運動」の障害と考えられます。様々な疾患の機能障害に対応するリハビリテーション科医にとって、脳卒中や神経筋疾患、誤嚥性肺炎などに横断的に認められる摂食嚥下障害は、臨床場面でよく遭遇する問題です。また、実際に取り込む栄養についても、成分や量によってリハビリテーション治療効果に影響を及ぼすため、非常に大切な分野となっています。日常診療で湧いてきたリサーチ クエスチョンを、研究班でデザインをして少しずつ研究を進めています。



そして、ひとりの研究者では難しいことも、同じ視点で同じ目標に向かって歩む多くの研究者が属する研究班なら可能になり、より多くの患者さんのために役立つ研究を行っています。そのため当研究班は実臨床を大切にしており、各病院の困難症例を適宜相談・発表を行える場も設けています。急性期から回復期、生活期にいたるまで幅広い関連病院があり、単一の病院では経験できない症例や知見を共有することを可能としています。臨床の問題を研究班で解決し、臨床場面に還元するための活動をしています。

## 研究テーマ

## Research Themes

- ・補助食品、栄養剤、嚥下調整食に関する調査
- ・肺炎および嚥下障害患者における栄養管理
- ・サルコペニア・フレイルの予防・改善へのアプローチ



アドバイザー	武原 格	東京都リハビリテーション病院
リーダー	小林 健太郎	九段坂病院
メンバー	巷野 昌子	東京慈恵会医科大学附属病院
	又吉 由紀子	東京慈恵会医科大学附属柏病院
	坪井 麻里佳	総合東京病院
	柏原 一水	九段坂病院
	畑中 麻衣	河北リハビリテーション病院
	鈴木 慎	東京慈恵会医科大学附属病院
	豊田 紫央李	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
	大淵 恵	東京慈恵会医科大学附属第三病院
	酒井 貴哉	東京都リハビリテーション病院
	小田 隆之	東京慈恵会医科大学附属柏病院
	小野 航暉	東京慈恵会医科大学附属第三病院
	寺嶋 咲稀	東京慈恵会医科大学附属病院



研究班リーダー

小林 健太郎 助教